

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	公的扶助論（Public Assistance）		
ナンバリングコード	E20918	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E017701	クラス名	-
担当教員名	佐藤 正昭		
履修上の注意、 履修条件	聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え、取り組むことを心がけてください。		
教科書	最新 社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援 中央法規出版		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	社会福祉の原理と政策, ソーシャルワークの基盤と専門職, ソーシャルワークの理論と方法		

○基本情報		
授業の目的	本授業では、公的扶助の概念や意義と役割及び貧困状態にある人の生活実態と取り巻く社会環境、生活保護制度と低所得者に対する法制度について学ぶ。ただ知識として覚えるのではなく、貧困に対する支援の実際について、当事者の気持ち、関係者の気持ちなどを考えながら、社会福祉専門職として多角的に物事を考える視点を養うことを目的とする。	
授業の概要	貧困とはなにか、その概念を理解したうえで、公的扶助及び低所得者対策の理念と意義及び貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や支援の実際について学ぶとともに、公的扶助制度や施策の発展過程を理解し活用する方法を学ぶ。また、ソーシャルワーク活動において必要となる低所得者に対する法制度や関係機関と専門職の役割について理解する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	公的扶助の概念と貧困の概念、貧困状態にある人の生活実態について関心を示すことができる。	10点		
【知識・理解】	生活保護制度の基本的な内容(原理・原則、権利と義務、扶助の種類等)、低所得者に対する法制度、ホームレス支援などについて理解できている。	50点		10点
【技能・表現・コミュニケーション】	貧困を取り巻く諸課題について調べたうえで、自らの考えを表現することができる。	10点		5点
【思考・判断・創造】	生活保護制度や低所得者に対する法制度のあり方について、自らの立場に基づいた見解を述べることができる。	10点		5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
定期試験及び毎講義終了時の確認テストの結果等をもとに総合的に判断する。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 ※確認テストで申し出のあった質問・改善事項については、次回の講義時などに可能な限りコメントしたり、個別メールを使って回答する。

○その他
学習相談等については授業前後に行います。気軽に遠慮なく声をかけてください。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	公的扶助論（Public Assistance） 佐藤 正昭	授業コード	E017701
学修内容					
1. オリエンテーション 本講義の目的、到達目標及び授業計画等について説明します。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
2. 公的扶助の概念 公的扶助とは何か、公的扶助の範囲と社会保険の違いをどのように捉えるかを考えたうえで、公的扶助の意義と役割について理解します。障害や障害者をどのように捉えるのかを考えます。また、セーフティーネット機能やナショナル・ミニマム機能について理解します。（オンライン）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
3. 貧困の概念 貧困とは何か、どの定義と測定方法についての考え方を理解します。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
4. 貧困状態にある人の生活実態と取り巻く社会環境 貧困状態にある人の暮らし向きや世帯・住居等生活の状況、日本経済の構造変容による所得格差と貧困の拡大、家族や地域の変化、社会的孤立等について考察します。（オンライン）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
5. 貧困の歴史 貧困の歴史を概観し、貧困観の変遷や貧困に対する制度の発展過程について、日本とイギリスを比較した視点からから学びます。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
6. 生活保護制度① 生活保護法の目的や原理・原則、保護の種類や内容と方法について具体的に学びます。（オンライン）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
7. 生活保護制度② 生活保護施設や被保護者の権利及び義務、生活保護の財源及び最低生活保障水準と生活保護基準について学びます。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
8. 低所得者に対する法制度① 生活困窮者自立支援制度の理念と概要、動向について学びます。（オンライン）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	公的扶助論（Public Assistance） 佐藤 正昭	授業コード	E017701
学修内容					
9. 低所得者に対する法制度② 生活福祉資金貸付制度の変遷や貸付手続きの流れ、生活福祉資金に求められる役割と課題について学びます。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
10. 低所得者に対する法制度③ 低所得者対策（無料低額宿泊所、無料低額診療事業、公営住宅制度等）とホームレス対策（ホームレス自立支援法の制定とホームレスの実態）について学びます。（オンライン）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
11. 貧困に対する支援における関係機関 貧困に対する支援における公私関係（公的扶助と国家責任）、国、都道府県、市町村、福祉事務所、自立相談支援機関の役割について考察します。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
12. 貧困に対する支援における専門職の役割 行政機関や社会福祉協議会、その他の支援機関に配置されている多様な専門職やその職務について知り、その意義を考察します。（オンライン）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
13. 貧困に対する支援の実際① 支援に必要とされている視点と基本姿勢について、DVD視聴を通して学びます。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
14. 貧困に対する支援の実際② 行政をはじめ関係機関や専門職が実際に支援している事例を通して、その機能と役割を学びます。（オンライン）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
15. 貧困に対する支援の課題 これまで学んできたことを復習し、それを踏まえて貧困に対する支援の課題について考えます。（対面）					
予習		教科書を読んでおくこと			約2時間
復習		教科書や資料をもとに要点をまとめる			約2時間
16. 期末試験					
予習					
復習					